

企業振興育成WG 令和2年度 活動報告



2021年2月1日
鯨岡

本年度は、新型コロナウイルスの影響により
以下の活動実績ならびに予定となっている

●オンライン・ミーティングの開催

2020年10月1日

- ・ 秋田県 産業労働部（熊谷様・富樫様）
ならびに企業立地事務所（出茂様・桑原様・中邑様）より
「本年度の活動計画、目標、現状報告など」
- ・ 本年度のあきた寺子屋開催（案）について

●秋田IT Café in Tokyoのオンライン開催

- ・ 8月4日 松浦真弓様
- ・ 10月13日 進藤圭様
- ・ 12月8日 井上大智様

* 次いで2月9日に開催、秋田でのSTARTUP プロジェクトの発表会

●WGの取り組むテーマについて

- ・ 秋田県の人手不足、人財育成など
- ・ 秋田県をSDG s の先進県に～高質な田舎の実現のために

秋田IT Café in Tokyo 開催内容

	開催日	テーマ	スピーカー		参加者
1	2018年4月9日	ITによるデジタル変革と地方創生	日本アイ・ピー・エム（株）	佐々木敦守	35
2	2018年6月12日	最新テクノロジー活用で地域間連携、異業種連携による価値創造と地方創生	ナレッジネットワーク（株）代表取締役、内閣官房シェアリングエコノミー伝道師	森戸裕一	23
3	2018年8月7日	メディカルITベンチャーと日本の医療の不都合	リステラメディカ（株）代表取締役、医学博士、薬剤師	織田聡	14
4	2018年10月9日	ITビジネスと地方創生～シェアリングエコノミー	日本経済研究所専務理事（チーフエコノミスト）	鍋山徹	29
5	2018年12月11日	社内RPA開発者を570人育成～RPAをスケールさせるコツ	（株）LIXIL RPA全社展開担当	竹内瑞樹	25
6	2019年2月12日	日本の問題点と女性	キャリア研究会会長、神奈川工科大学客員教授	野木秀子	26
7	2019年4月9日	秋田県eスポーツ協会設立について	秋田県eスポーツ協会会長、（株）エスツーツ代表取締役	須藤晃平	26
8	2019年6月11日	地方創生におけるAI活用の本質	（株）野村総合研究所AIソリューション事業本部上級コンサルタント	佐々木俊	27
9	2019年8月20日	秋田県・秋田市令和誘致第一号企業	東北IT BOOK（株）取締役	岩本高佳、九島正弘	23
10	2019年10月8日	IoTを用いた秋田活性化プラン	（株）Eidea代表取締役	村上知宏	20
11	2019年12月10日	データ活用でヘルスケアを成長産業に	BiolCT（株）代表取締役	木村裕一	24
12	2020年2月18日	夢と希望、野望と挫折、志と意思（出会いが導く人生）	（株）ロジザード取締役会長	遠藤八郎	20
13	2020年8月4日	With コロナ時代を勝ち抜く アプリから始める現場DX	アステリア（株）ネットサービス本部エバンジェリスト	松浦真弓	23
14	2020年10月13日	いちばんやさしいスタートアップとの付き合い方	ディップ（株）執行役員次世代事業準備室長	進藤 圭	35
15	2020年12月8日	STARTUP～優れた起業家は何を考え、どう行動したか	慶應義塾大学 政策メディア研究科修士課程	井上大智	33

リモート開催

リモート開催

リモート開催

●今後の活動計画

- ・WGのオンライン開催

2021年2月、3月の2回開催予定

2月2日（火）は、足立 直樹氏を招聘し、SDG s の勉強会を開催

* 本総会でも、WG勉強会の拡大版としてSDG s の講演を実施

- ・第9回あきた寺子屋のオンライン開催

初のオンライン開催を実施。

2021年1月24日（日）・2月6日（土）の2回の開催

北東北歴史懇話会活動報告

主査横山裕司

資料 3－2

2021年度に予定されている、北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群の世界遺産登録を推進・応援するためにオンラインシンポジウムを開催

2019年 準備開始

- 2020年 8月12日 当会・鹿角市・北秋田市・県事務所と打合せ（Zoom使用 以降も同様）
オンラインシンポジウムによる開催と決定
後日、シンポジウムの録画をユーチューブにもサイトアップすることも決定
- 8月21日 前述の4者に秋田県も参加して打合せ
鹿角市・北秋田市の会場で同時上映も決定
- 9月 3日 5者打合せ シンポジウムの講演内容・次第等を決定
- 9月28日 同 上 大館市でも同時上映が決定 広報活動・案内チラシの確認等
- 10月28日 6者打合せ 第1回 リハーサル 大館市も参加
- 11月20日 同 上 最終リハーサル 西村先生も参加
- 11月28日 **シンポジウム開催**

秋田縄文遺跡 世界遺産推進シンポジウム

日時：2020年11月28日（土）

13時30分～16時30分

開催方法：オンライン「ZOOM」開催

同時上映：大湯ストーンサークル館

北秋田市民ふれあいプラザコムコム

大館市中央公民館

議事次第

開会の辞： 藤盛紀明 北東北歴史懇話会会長

挨拶： 児玉 一 鹿角市長
津谷永光 北秋田市長

講演

1. 北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録について
日本イコモス国内委員会委員長 西村幸夫東大名誉教授
2. ディスカッション 西村幸夫・藤盛紀明
3. 北海道・北東北の縄文遺跡群の価値 秋田県教育委員会 新海和広
休憩 10分
4. 伊勢堂岱遺跡について 北秋田市教育委員会 榎本剛治
5. 大湯環状列石について 鹿角市教育委員会 赤坂朋美
6. 質疑応答
7. 閉会の挨拶 藤盛紀明

参加者の状況

オンライン参加者 約80名

鹿角会場	大湯ストーンサークル館	46名
------	-------------	-----

北秋田市会場	北秋田市民ふれあいプラザコムコム	46名
--------	------------------	-----

大館市会場	大館市中央公民館	30名
-------	----------	-----

【参考】

2019年 7月30日 文化審議会世界文化遺産部会において「北海道・北東北の縄文遺跡群」を2019年度の世界文化遺産推薦候補に選定

2020年 イコモスによる日本調査

2021年 世界遺産登録決定(予定)

* 秋田県対象遺跡 大湯環状列石(鹿角市)、伊勢堂岱遺跡(北秋田市)

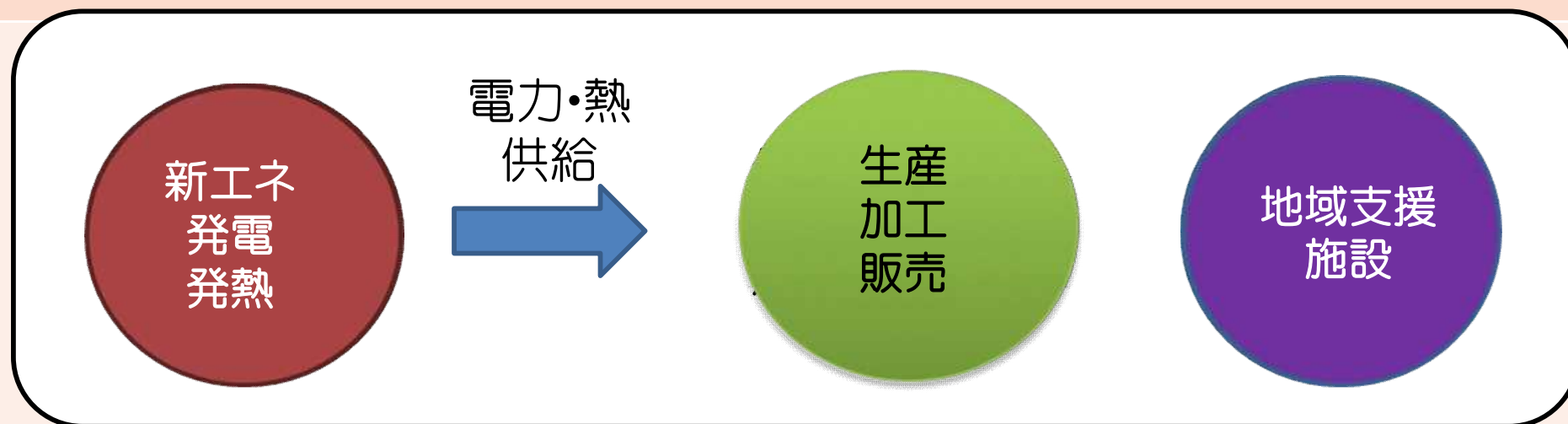
秋田産業サポータークラブ

新エネルギー地産地消WG 令和2年度 活動報告

2021.02.01.
WG主査 加賀谷健治

1.WGの目的

新エネルギーを使用した「電力・熱供給施設」と「地場特産品生産施設」の「コンビナートまたはクラスター」建設を県内各地に提案する。



《最近の本WGを取り巻く追い風》

- ①新コロナ感染拡大による地方移住希望者が増えるに伴い、移住者雇用の場が必要になる。
- ②日本が「2050年までにカーボン・ニュートラルを目指す」ことになり、各省庁の新エネルギー導入の補助金増大が期待出来る。

2. 令和2年度のWGの活動

・偶数月の第3月曜日に開催、8月からWG村上知広氏の協力でWEB会議で開催

2.1. 講演による最先端技術の事例調査…5回

1) 地域マイクログリッド

(地域分散型電力)

(第6回WG:R1.12.16)

富士電機(株)伊藤康夫氏

マイクロ・グリッド
(発電・給電・蓄電)

←
非常時電力

東北電力

2) 外気＋雪氷冷房

データセンター

(第7回WG:R2.1.27)

富士電機(株)伊藤康夫氏

雪山

→
冷水

データセンター

消費電力4割削減

3) スマート林業

(第9回WG:R2.8.17)

(株)アドイン研究所佐々木浩二氏

塩沢恵子氏

生産

流通

加工販売

リモートセンシングやICT等の技術活用、情報共有

スマート農業

=

農業

×

先端技術

4) スマート農業

(第10回WG:R2.10.19)

富士通九州システムズ渡邊勝吉

ICT活用で稼げる農業に

生産

加工・流通

小売・外食・流EC

5) スマート漁業

(第11回WG:R2.12.21)

富士通(株)武野竜也氏

陸上養殖におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)

2.2. WGメンバーの調査報告

1) 目標実現のための調査報告…3件

- ①「再生可能エネルギー各省庁の支援について」(WG細川甚孝氏)
- ②「再生可能エネルギーに対するESG金融、地域金融事例」(WG藤原純衛氏)
- ③「新エネルギー地産・地消の建設経緯・事業体制等」(WG加賀谷健治)

2) 林業・木質バイオマス発電関連…5件

- ①「秋田の林業再興と地域経済振興のための木質バイオマス発電」
(WG加賀谷健治)
- ②「林業の実態について」(WG喜藤憲一氏)
- ③「小規模木質バイオマス発電型熱電供給」(WG草刈啓一氏)
- ④「秋田県の木質バイオマス関連会社見学報告」(WG喜藤憲一氏、遠藤八郎氏)
- ⑤「秋田県林業の実態」(WGメンバー喜藤憲一氏)

《報告による重要ポイント》

- ・新規の「木質バイオマス発電」の燃料を安定調達するためには、衰退した林業の活性化が必要。
- ・新規発電電力をFIT(固定価格買い取り制度)より売電する場合、電力会社の送電線に余裕がないので系統接続が出来ない。発電電力は地消する必要がある。

2.2. WGメンバーの調査報告

3) 小水力発電関係

- ①「鹿角市西村小水力発電所見学報告」(WG遠藤八郎氏)
- ②「マイクロ発電システムについて現状説明」(WG櫻井孝幸氏)

4) 秋田県の活動状況

- ①「秋田県鹿角市 エネルギー地産地消の取組み」報告(WG成田賢氏)
平成22年から長期にわたり熱心に活動を行っている。

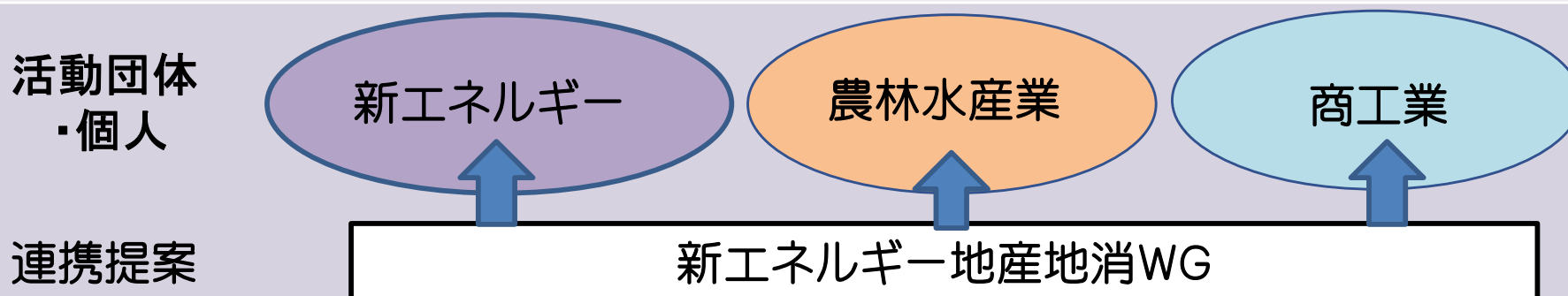
2.3. 秋田県の助言

- ・秋田県資源エネルギー産業課・阿部泰久課長、石山聡副主幹
 - ①秋田県の発電電力の半分は県外に送電し、電源立地地域対策交付金を受ける。
 - ②地域新電力から安価な電力を購入する事はFIT(固定価格買い取り制度)の下では困難。FIT終了電力なら可能性ある。排熱は農業で利用出来る。
 - ③雪冷熱の産業利用は食品保存などで昔からやっている。
 - ④地域電力は、災害時のリスクを緩和になる。

3. 当面の活動

1) 地元活動団体との連携検討

本WGの目的実現に向け、県内各地で同様な目的を持った団体・人との連携を検討する。



2) 地元活動組織・個人調査

- ①「秋田県における新エネルギー利用による地域活性化活動」
- ②「秋田県における農林水産業の地域活性化活動」
- ③「秋田県における商工業の地域活性化活動」

3) 各省庁の補助金の調査

経済産業省・環境省・農林水産省・国土交通省etc.

4) 県内各地区への提案内容検討

各地区の活動に応じた「コンビナート／クラスター」の提案内容検討。

以上